

競技上の注意

- 1 競技は、令和5年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び本大会の申し合わせ事項により行う。
- 2 競技日程及び方法は、プログラム掲載の通りとし、試合は3セットマッチとし、予選リーグ、決勝トーナメントとする。なお、予選リーグ・決勝トーナメントともに3セット目は25点マッチ、デュースありとする。
- 3 前試合IF終了後すぐに合同練習に入る。合同練習の時間は5分間とする。なお、試合が連続する場合は、10分間空け、その後プロトコールに入る。この時間のコートの使用は合同練習に準ずる。隣のコートで試合をしている場合は、ボールをヒットしない練習を基本とする。（防球ネットをしている会場については、その限りではない）
- 4 公式練習は6分間とする。合同で公式練習を実施しない場合は、各チーム3分間とする。片方のチームが練習中の場合、原則その片方のチームは練習不可である。（公式練習は、初戦の試合のみとする。）
- 5 1日目、2日目ともに会場の試合状況に応じて、45分間の昼食時間を設定します。全試合のIF終了45分後をプロトコールとします。
- 6 熱中症の恐れがありますので、「給水のためのタイムアウト」を採用します。先に13点に達したときに取り入れます。
- 7 試合球は、カラーボール（人工皮革）【男子：モルテン、女子：ミカサ】を使用する。（各チームご準備ください）
- 8 チームの構成は、大会要項とおりにする。登録変更については、監督会終了後すぐに大会本部に提出する。なお、変更のないチームも「変更なし」と記載して提出すること。
- 9 エントリーについては、12名以内とし試合毎に変更ができる。エントリー変更を行うチームは試合開始前にエントリー用紙に記載し記録席に提出する。
- 10 ベンチには、有効に登録された監督・コーチ・マネージャー・選手12名以内とする。大会中は、ベンチ及びフロアには有効に登録された監督・コーチ・マネージャー及び選手以外は入ることができない。なお、試合中は該当チーム以外のフロアへの立ち入りは原則禁止とする。
- 11 スタッフ（監督・コーチ）は、原則統一された服装でベンチに入ることが望ましい。（短パン、ランニングシャツは禁止）また、マナーについては十分に留意すること。監督・コーチ・マネージャーマークは、左胸部に付けること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けること。
- 12 試合コート及びフロアでのボールの使用は、合同・公式練習とセット間（フリーゾーンのみ）以外認めない。
- 13 審判員及び線審・点示は、別紙記載の要領でお願いします。当大会は、随伴審判制度を採用していますので、ご協力をお願いします。
- 14 2日目の運営については、男女とも各会場の監督会で抽選を行うので、代表者は必ず出

席してください。

会場使用上の注意

- 1 体育館で使用するシューズは、室内専用のもを使用すること。室内専用シューズで体育館の外に出ることは禁止します。
- 2 原則、降雨時は濡れた傘は室内に持ち込まないこと。傘立てがない会場では、ビニール袋を各チームで準備し、管理をすること。
- 3 フロア内への飲食物の持ち込みはしないこと。フロア内への飲料の持ち込みは、登録選手・スタッフが使用するドリンクのみとし、スクイズボトルなどに移し替えて持ち込むこと。ペットボトル・コップ付き水筒は禁止とする。
- 4 火災報知器・消火器などには触れないこと。
- 5 フロア内での観戦は原則として許可しない。(ただし、体育館の状況による。)
- 6 持参した飲食物等のゴミは、すべて持ち帰ること。
- 7 シートを敷いても構いませんが、通路を確保するなど、通行の妨げにならないように配慮すること。
- 8 喫煙は、所定の場所ですること。
- 9 トイレの使い方には十分注意すること。
- 10 盗難・事故などに十分注意すること。
- 11 車は、駐車場で他の車に支障のないように指定場所に駐車すること。また、限られたスペースでの駐車となるため、できるだけ乗り合わせてくること。
- 12 弁当殻については、業者に手渡しをして頂くようにお願いします。手渡しができない場合は、チーム名をしっかりと記載しておいてください。
- 13 応援については、声を出しての応援ができるが、鳴り物については手にもてる程度のもとし、太鼓などの大きな音の出るものは認めない。

審判上の確認事項

- 1 本大会は、令和5年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則及び本大会の申し合わせ事項により行う。リベロプレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。監督・コーチ、選手ともに競技規則に精通し、忠実であること。
- 2 「トス」の後、監督及びチーム・キャプテンは、記録用紙にサインする。
- 3 セット間は、フリーゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- 4 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。(相手チームに向かってのガッツポーズ等)
- 5 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。また、コート上の選手がベンチのスタッフや交代競技者ともタッチ(ハイタッチなど)を行わないこと。
- 6 ワンボールで試合を行うので、デッドになったボールは、速やかに次のサーバーに渡すこと。

- 7 タイムアウトの要求は、副審へのハンドシグナルで行うことができる。
- 8 競技者交代の要求は、正規の競技中断中に行うこと。また、交代競技者がコートに入る準備をして競技者交代ゾーンに入ること。そうでない場合は、競技者交代は認められず、そのチームに遅延に対する罰則が適用される。同時に2組以上の競技者交代をしようとするときは、すべての交代する競技者は同時に競技者交代ゾーンへ入ること。
- 9 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。したがって、各チームでワイピング用のスモールタオルを準備し、コートの選手が持っておくようにしてください。タイムアウト、セット間及び審判員が必要と判断した場合のみモップ使用を許可する。

その他の規定等

- 1 ユニフォーム・パンツ・ソックスの色とデザインはチームで統一すること。
ユニフォームの背番号は、1～18番までとする。また、ユニフォームの番号は胸部と背部の中央にユニフォームと対照的な色と明るさでつけること。番号の高さは胸部が10～15cm、背部が15～20cmで、字幅は最小2cmとする。
ユニフォームには正式な学校名またはその略称を、胸部か背部につけること。都道府県名をつける場合には、左袖につけること。ユニフォームの胸部に校章を付けることができる。
- 2 パンツの下からはみ出るようなスパッツの使用は、個人でも全員が揃って使用している場合でも禁止する。
- 3 ハチマキやサポーター類もユニフォームに準ずるものとする。したがって刺繍等は学校名のみとすること。
- 4 ラインズマン・点示・スコアラーについては組合せを確認すること。

タイムスケジュール			
	時間	役員の動き	担当役員
試合前	7:15	開錠をして、補助員を体育館に誘導する。 補助員とともに会場設営する。 審判員の方の駐車場確保、誘導案内(保護者に協力してもらう)	会場責任者 競技・審判
	8:00	開場(女子は ACEG パートのみ)	受付
	8:10	監督会(2日目については各会場で抽選を行う)	
	8:30	8:30まではフリー練習。以降は第1試合のチームのみ練習 各チームから試合球を受け取って気圧等のチェック	競技主任
	8:45~	審判員とコートチェックを行う。	審判主任
	8:49	第1試合プロトコール	
第1試合	9:00	コートチェンジは通常通り行う。 WTO の採用	競技
第2試合	第1試合終了後	第1試合の IF の確認終了 5 分後に第2試合のプロトコール(連続試合は 10 分)	競技主任
第3試合以降		公式練習は第1試合目のチームのみ行う。	
男子会場		女子会場	
(1日目) <ul style="list-style-type: none"> 第4試合終了後、IF などの確認をして45分間の昼食休憩を設定する(コート別に設定しても良い) 時間を場内にアナウンスする。(30分間はコートの使用を禁止する) 30分経過後は、第5試合のチームのみ練習することができる。 (2日目) <ul style="list-style-type: none"> 昼食時間は設定しない 		(1日目) 12:00 女子 BDF パート 開場 12:10 女子 BDF パート 監督会 ※ 第4試合以降は第1~第3試合の流れと同様 (2日目) <ul style="list-style-type: none"> 昼食時間は設定しない 	
順位決定試合 (2日目)	各パートの順位が決定した試合後にコートで表彰を行う。 (男子) 各パート(1部~4部)の3位まで (女子) 各パート(1部~3部)の3位まで ※3位は2チーム		